

渋谷区神宮前3丁目国有地を活用した 原宿はらっぱファーム



原宿はらっぱファームプロジェクトリーダー
NPO法人コンポスト東京 代表理事
安西美喜子



美喜子
Mikiko Anzai

【笑顔と資源の地域循環】をテーマに自然と人、人と人の絆再生のためのコミュニティガーデンとコミュニティコンポストを広めている。

- NPO法人コンポスト東京 代表理事
- 原宿はらっぱファームプロジェクトリーダー
- 渋谷区立原宿外苑中学校 土づくりアドバイザー、ベネッセ美竹の丘保育園、砂町交流農園（江東区）他、渋谷を拠点に全国でコンポストアドバイザーとして講座や講演、コミュニティコンポストのサポート活動を行なっている。
- 循環染色家、女神画アーティスト他

わたしたちは循環するひとつながりの「いのち」



コンポスターズ

17年暮らした佐渡島（新潟県）の自然や人、ニューメキシコ・タオスプエブロ（ネイティブアメリカンリザーベーション）の地と人から受け取ったこと等は今の活動に大きく影響を与えている。都心の畑の横で大好きな人たちと焚き火をして踊っていられたら最高です^^



コンポスト実践ワークブック

NPO法人コンポスト東京



法人概要

東京で捨てられているあらゆる有機物（生ごみ・木くず・食品残渣など）を、地域コミュニティの再創造とともに土へ還す循環の仕組みを創る

ミッション

- 東京での「生ごみ焼却ゼロ」を目指すとともに、都市全体の有機物リサイクルモデルを構築
- 都心の“人と人、人と土がつながる循環型社会”を実現
- コミュニティコンポストと菜園を一体的に広げる
- 国内外の先進事例を学び、日本の地域に根ざしたコンポストマスター育成カリキュラムを開発中



東京・原宿のと真ん中、国有地1,500㎡に生まれた“都市型共創ファーム”



国有地を活用した、地域と自然をつなぐ都市型共創ファーム 原宿はらっぱファーム



コミュニティと循環の新しいかたちを実験中

原宿発モデルを全国・世界へ



「原宿はらっぱファーム」プロジェクトとは？

都市の中で自然と人、人と人を結び、環境意識を育む**コミュニティ農園**
農的空間の確保によって、環境保全・防災力向上・食育・地域交流を生み出します

活動内容：

- コミュニティ活性化のための畑デザイン（都市農業先進都市パリ5区の方法に倣う）
- 地域交流イベント（収穫祭、ワークショップなど）
- 地域の生ごみ、未利用有機物の堆肥化（資源と人の地域循環・コミュニティコンポスト普及）
- 防災・避難スペースとしての機能

特徴：

- 国有地1,500㎡(テニスコート7面分の広さ)の空き地を有効活用
- 1年間（25年2月～26年1月末まで）期間限定で、社会実験を展開
- “渋谷区”“原宿”というこの土地ならではの発信力やメッセージ性
- 土に還元できる素材や再利用できるものを活用
- 子どもから大人まで誰でも参加できる開かれた設計

2025年10月31日



原宿はらっぱファームの活動
SHIBUYA IMPACT
SHIBUYA GOOD ACTION of The Year 受賞

主催 一般社団法人渋谷未来デザイン
共催 渋谷区

社会的意義

国の方針や国際目標との整合性

- 環境省「地域循環共生圏」
- 農林水産省「都市農業振興基本方針」
- 国土交通省「都市緑地法」に基づく都市緑地機能の提供

SDGs

- 2（飢餓をゼロに）
- 11（住み続けられるまちづくり）
- 12（つくる責任つかう責任）
- 13（気候変動に具体的な対策を）
- 15（陸の豊かさを守ろう）



公益性

- 地域住民の交流・学びの場
- 都市のヒートアイランド現象の緩和
- 災害時の食料・避難支援拠点（防災）
- 安全・安心な地域づくりへの貢献（防犯）

運営体制

- 運営団体：都市農地と防災のための菜園協議会
- 事務局 10名
 - 野菜生育指導 元都立農業高校教師
 - コンポスト関連
協力／一般社団法人のあやま
NPO法人コンポスト東京

活動実績

自然体験が交流を生み、
意識を変え、未来を育む。

これまでの活動

- イベント開催 25回以上
収穫祭、苗植え体験、堆肥づくり講座、
防災かまど作り、防災植物講座ほか

栽培作物 50種以上

トマト、ナス、ピーマン、きゅうり、
大葉、ゴーヤ、じゃがいも ほか多数

コミュニティコンポスト実験



共創ケース

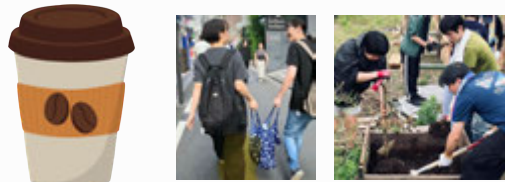
渋谷区の住民・来街者・企業・教育機関と共に
新たな循環モデルを実験

Case#1 「コーヒーマッセンジャー」

地域の大学×カフェ×原宿はらっぱファーム

店舗から出るコーヒー抽出後の豆かすを、学生が
週1回ファームへ運搬、コミュニティコンポストにて
週10kgのコーヒー豆かすを堆肥化

- 活動開始：2025年7月～



Case #2 「つながる畑」

ゆるやかにつながる共創コミュニティ

見知らぬ8人で野菜を育てる仕組みを導入。少人数
のため自分ごと化しやすく、積極的な参加と新しい
つながりが生まれている(パリ5区の方法に倣う)

- 活動開始：2025年4月～



菜園登録メンバー

• 畑70人、コンポスト44人

(新聞記者、会社経営、芸能関係者、環境系インフルエンサー、
海外から引越してきた日本人・外国人など渋谷らしい顔ぶれ)

• みんなの畑サポーター 24名

メディア掲載

- greenz.jp
- 渋谷のラジオ
- グローバルネット414号
- BS朝日つながる絵本
- 朝日新聞
- 原宿表参道新聞
- シブヤ経済新聞
- 公益財団法人フォーリン・プレスセンター
• Pacific Media Network (New Zealand)
• 7news Belize (Belize)
- 日経BP
- 日刊工業新聞

変化の記録

BEFORE

2025年3月



何年も使われず空き地だった国有地

AFTER

2025年7月



人の交流と作物であふれる豊かなファームへ

ファーム所在地：渋谷区神宮前3丁目35-9

原宿はらっぱファーム

詳細・最新情報は

Instagramから





2025年10月26日放送 BS朝日つながる絵本

<https://www.youtube.com/watch?v=rtsNbRPx828&t=24s>

0:24-2:46